

林野火災対応訓練を実施

森町消防本部

森町消防本部では、7月13日消防本部横に於いて、管内で発生した林野火災を想定し、森町消防本部・北海道防災航空室による訓練を実施しました。訓練は、消防隊による長距離延長ホースからの放水等の他、北海道消防防災ヘリコプターと消防隊が連携し、ヘリコプターが低空ホバーリング中ダウンウォッシュ下で消防隊が空中散水用のバケットに給水、その後ヘリコプターによる散水訓練が行われるなど、各関係機関との連携強化が図られました。



空中散水用バケットへ給水する様子

酷暑下の予防業務を支える新たな装備

十和田地域広域事務組合消防本部

令和8年7月、十和田地域広域事務組合消防本部では、予防課職員が立入検査や消防用設備等の設置検査、火災調査などの屋外業務で着用する空調服を配備しました。

近年、東北地方でも猛暑日が増加していることから、職員の暑熱対策と職場環境の改善を目的に導入したもので、現場活動隊に先がけた新たな取組です。今後も安全で働きやすい職場環境づくりを推進し、住民サービスの向上に努めてまいります。



消防通信

望

楼

ぼうろう

林野火災に備え消火訓練を実施

新潟市消防局

新潟市秋葉消防署では、令和8年6月14日（日）新潟市消防団秋葉方面隊と連携し、林野火災対応訓練を実施しました。

当署管内にある広大な「にいつ丘陵」において林野火災が発生し、水利不良との想定で訓練を実施しました。付近の湖から取水し、長距離送水を行い放水までの手順を確認しました。

今後も継続して訓練を行い、消防団員との連携強化と災害対応能力の向上に努めてまいります。



「2026夏の防災スクール」を開催しました

湖南広域消防局

湖南広域消防局では、令和8年7月22日に、夏の災害予防啓発運動の一環として、学童保育所にて「夏の防災スクール」を開催しました。

本イベントは夏場に増える事故の防止を目的に開催したもので、子どもたちは「安全な水遊び・花火遊び」と「防火防災かるた大会」の2つのグループに分かれて楽しみながら防災について学びました。

花火体験では初めて体験する児童も多く、緊張した面持ちで消防職員と一緒に火を付け、正しい取扱い方法を身につけました。また、かるた大会では夏の暑さを吹き飛ばすほどの熱い戦いが繰り広げられ、会場は大盛り上がりとなりました。

思い出に残る楽しい夏休みを過ごせるよう、これからも防災の輪を広げてまいります。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】